

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆高度人財の育成／ベトナム人工科大学生のインターンシップ

ベトナム人高度人財の育成の一環として、日本企業でのインターンシッププログラムがスタートしました。約2カ月間（ベトナムでの研修1カ月、来日1カ月）のインターンシッププログラムに3名が参加しました。

## ～実践の場で学びを深める～

実践的な技術だけでなく、日本の職場文化やビジネス環境を学ぶ貴重な機会となったようです。参加メンバー達は、大学だけでは得ることができない多くの学びや気づきがあった、自身に足りないスキルを認識し帰国後にどういった学びを深めていく必要があるかを知ることができたと語っていました。彼らの日本企業で働く意欲は更に高まり、インターンシップ受入企業への就職を熱望していました。

## ～激励会～

インターンシップの最終日には激励会が行われ、会社幹部やベトナム人社員など総勢30名ほどが集まりました。インターンシップ期間中の活動を写真や動画で振り返りながら、和やかな雰囲気の中、日本企業で働くイメージを描いたようです。

## ～次のステップへ向けて～

次のインターンシッププログラムは来年2月に実施する予定をしています。現地の大学で10月に開催したインターンシップ説明会には学生から多くの参加があり、日本産業への関心の高さが伺えました。



《ベトナムの大学での企業紹介》



《インターンシップ内定者面談会》



《インターンシップ最終日のまとめ作業風景》

## ◆西山語録「人の話しを聞ける人」

## ①自分の考え、意見で聞かない

自分基準で聞くのではなく、相手基準（相手のレベル）に合わせて聞く。「自分の言葉や考えでは聞かない」、それが人の話を聞く場合の絶対的要件である。本当に話を聞いている人は、本当の意味で質問をしてくるので、話を真面目に聞いているかどうか分かる。

## ②感謝する

相手の話を聞いて、新たな考え方を与えてくれたことに対して感謝する気持ちが重要である。感謝の気持ちを持つことがこれから成長することへの期待に繋がる。

## ③活かす

話してくれた人は、聞いてくれたがその後どうなったのか、結果がわからないと不安に思っていることがよくある。その結果を知らせることが大事である。相手の話をよく聞いて、最善の判断を下す。相手の意見や、行動を活かせなければ、話してもらえる機会は減っていく。話しをしてもらったことを活かすことが、自分が活かす最大の要素である。

## ◆霧研 鹿兒島合同開催しました！

霧研（次世代経営幹部養成研修）では10月より後期がスタートし、鹿兒島にて合同研修を実施しました。「企業経営は個客を捉えることから始まる」をテーマに講義&議論を行いました。

## ◆お知らせ

前回の号では人財育成の基本的な段階についてご紹介し、具体的な教育プロセスについても知りたいというお声をいただきました。次号ではまず「新入社員の教育」に焦点を当て、その重要性和具体的な方法について深掘りしていく予定です。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）